

ほんべつ



いいひと いいまち いきいき ほんべつ

特集

2 まちづくりの原点

10 本別町自治会連合会
創立三十周年記念式典

国民年金コーナー

12

平成20年度版 わがまち

マイタウン 本別のだいたい

11月3日、スポーツ賞等の授賞式が執り行われました

18 本別町文化祭

家庭医療学を生かして、往診や在宅医療、
初診外来の患者さんを支えたい

20

竹本医師が着任しました
資料館企画展「ほんべつ馬文化」

22 新型インフルエンザ

知っておこう

24

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に
基づく健全化判断比率等を公表します

26

第六次本別町

総合計画

Part7

ハロー本別中央小学校……………27
マイタウン……………28
みんなの健康・銀河ホットライン……………30
ご寄付ありがとうございます……………31
本のある暮らし・わたしたちのまち……………32



発展する北海道の高速道路網

北海道横断自動車道「本別IC～浦幌IC間」が開通

新直轄事業道路として道内初となる、北海道横断自動車道「本別IC～浦幌IC間」が11月21日に開通し、一般通行に先立ち、浦幌インターチェンジで鉄入れ式が執り行われました。今後、釧路まで整備される予定で、観光や物流を繋ぐ重要な路線がまた延長されました。

まちづくりの 原点

自治会活動が今の本別町を支えている



避難訓練は重要な活動で毎年数か所の自治会が取り組んでいます（北7丁目自治会）



在宅福祉ネットワークの活動は今や29自治会で取り組まれています

では自治会とはどんなものでしょう。自治会は、地域に住む人たちが、豊かで住みよいまちづくりを目指して、地域のさまざまな問題解決に取り組むとともに、住民の連帯意識の向上に努めている任意の団体です。自治会は一部の人たちによってつくられるものではなく、地域に住む人たちの総意でつくられ、活動し、また成長させていくべきものです。同じ地域に住んでいる人同士が、仲良く助け合って暮らしていこうとする考え方は、今も昔も変わっていません。そんな思いから自治会が組織されていると言えるでしょう。

自治会はこうした人びとの願いをさらに盛り上げて、より住みよい地域を築いていくことを大きな目的として組織されています。

アンケート結果が語る自治会の課題

そんな自治会ですが、自治会長の抱える悩みの一つに、「役員のなり手がいない」「活動への参加者が少ない」ということがあるのが今回実施したアンケートで分かりました。時間的な余裕がないことや、自治会活動への意識の低さが考えられますが、一方では「自治会活動に参加するのは当たり前」「つながりができて楽しい」などの意見も日常の中で多く聞くことができます。ほぼ一〇〇%の住民がそれぞれの住む自治会に加入しているのですが、いろいろな要因により自治会に対する思いは千差万別ようです。

ただ、一生懸命にみんなのために頑張ってくれている自治会長さんや役員さんのためにも是非とも惜しみない協力をお願いしたい現状にあることをアンケートは教えてくれました。自治会では、地域の連帯感を高め、住みよい地域をつくるため、もつとも身近な住民組織の一つとして、福祉・ふれあい活動をはじめ、スポーツ・親睦・衛生・空き缶拾い・子ども会育成・婦人部・交通防犯・消防部などさまざまな活動が行われています。葬儀については随分スタイルは変わってきましたが、自治会の皆さんが手伝い、



うるおいのある環境づくりのため花植えに各世代総出で取り組んでいます（南4丁目）

今、本別町は先進的な福祉などの取り組みで全国から注目されています。

先駆者的に取り組んだ「在宅福祉ネットワーク」、「健康長寿のまちづくり会議」、全道唯一のモデル地区となり2年間をかけて策定された「地域福祉計画」。

町民総意のもとに「福祉でまちづくり」が宣言され、「介護保険推進全国サミット本別大会」では全国から集まった福祉関係者を町民総出でお迎えし喜ばれました。

どれ一つとっても、成し遂げるためには積極的な自治会活動がなければ実現できなかったことばかりです。つまり積極的な自治会活動がなければ今の本別町の発展はなく、自治会活動の活発さが今の本別町を支えているのです。

参加しよう！自治会活動

自治会への入会や活動をおろそかにするのではなく、積極的に参加することで、理想的で有意義な会が育っていくこととなります。これからの「まちづくり」は、住民一人ひとりの参加と、連帯意識をもって、私たちの町を築いていく努力が大切となります。自分の時間を大切にしたい、はたまた仕事、家事、子育て…なにかと忙しいことは存じますが、これまで積極的に自治会活動に参加されていなかった人も、ぜひ関心を持って参加していただきたいと思えます。

参加していますか？

世代や取り巻く環境の違いで自治会活動への思いはさまざまです…。

人と人とのつながりが希薄になっている。そんなご時世の中、道内の市部では町内会への世帯加入率は72%（H16年北海道町内会連合会調べ）。対して、本別町では加入率は、ほぼ100%。しかし、最近ではここ本別でも、同じアパートに、どんな人が住んでいるのか分からないという、いわゆる都会でよく聞かれるような話が聞かれるようになったのも事実です。本州等から大きな志を持って本別の地に根をおろし、厳しい気候、環境の中で培った、地域のつながりの力、ふるさとを思う先人の努力の積み重ねが今の本別町を作り上げました。このことを我々は忘れてはいけません。この精神を持ち続け、次代の本別町にしっかりと受け継がなければいけません。

① 役員のなり手がなくて…
役員は高齢化。もっと若い人の参加を期待したいですね。（とある役員さん）

⊗ 会費は払っているけど…
自治会？ 会費は払っているけど、忙しくて活動には出ていない…。
（とある若者）

☹ 出られない
自治会活動の日に子どもの用事、仕事とぶつかり、出られない。何か肩身がせまくて…。
（とある子育て世代）

😊 当然参加してます
つながりができて楽しいです。
（実年代）

😡 もとがとれない！
安くはない自治会費。もとがとれない！負担は大きいです。
（とある主婦）

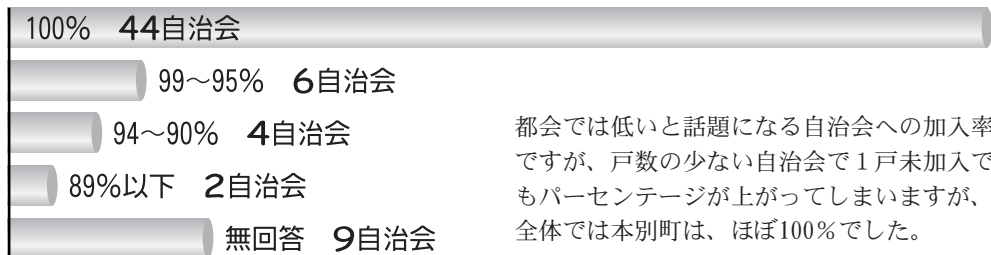
😊 交流が楽しい
近所の人とのふれあいからここに住んでいる実感というか、ここの一員なんだと自覚します。
（40代子育て中の男性）

いいんです！
出られる時で。出ようと考えてくれている心が貴重なんです。
会費のもとがとれないとは考えないでください。皆さんが安心して暮らせるよう役員の方々があなたが出てこられない代わりに一生懸命してくれているのですから。ですから時間の余裕がある時には、どうか顔を出してみてください。そこにはまた違ったご近所さんの魅力が発見できたり、自分の意外な一面を発揮できたりすることがあるかもしれないのですから…。

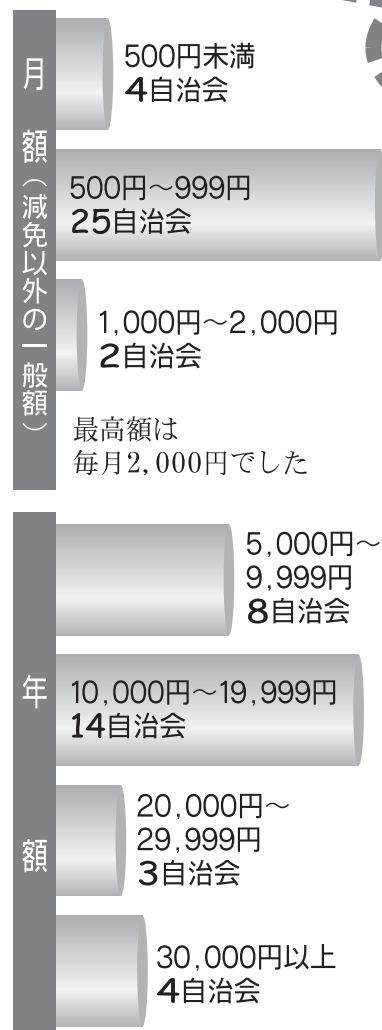
小さな子どもたちも一生懸命自治会活動に参加してくれています
（勇足元町子ども会ごみ拾い）

質問1

加入率・自治会費についてお聞きしました 加入率



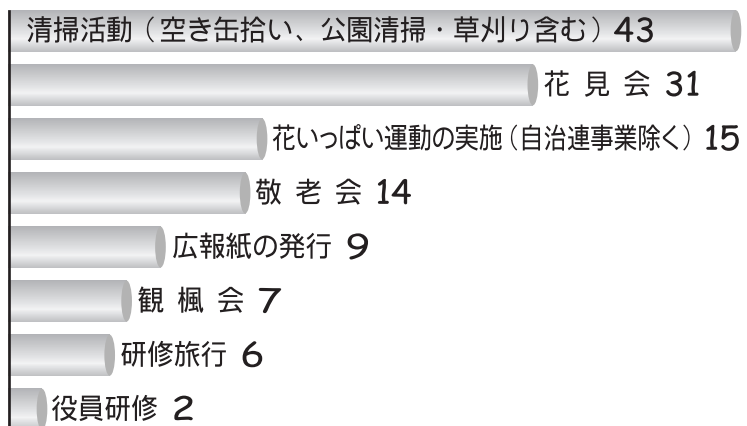
自治会費



自治会費は自治会ごとにさまざまで、月額でいただいている自治会、年額でいただいている自治会、一律定額ではなく低所得者、母子家庭、高齢者世帯、長期入院者などで減免している自治会、そして自治会費無料の自治会。自治会ごとに自治会費のかたちがあるという状況でした。

質問2

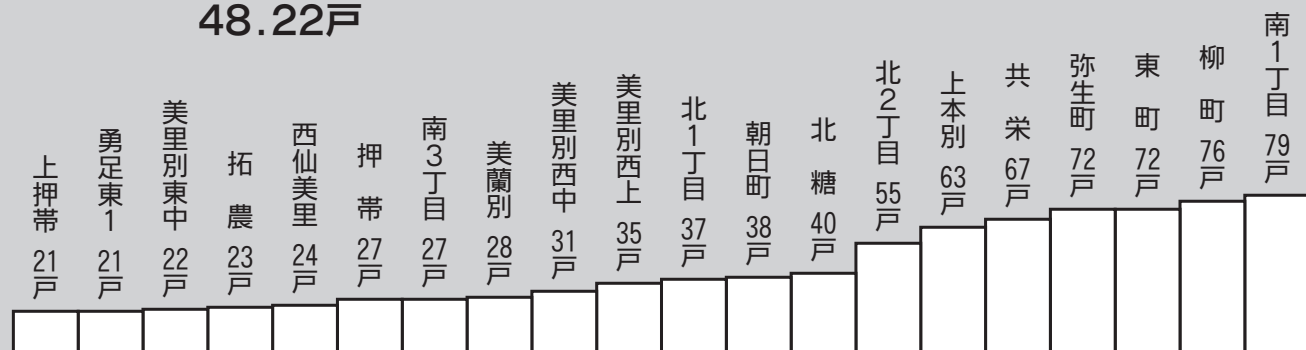
福祉・防犯・交通安全・婦人部などさまざまな活動が自治会では実施されていますが、その他貴自治会で実施されている活動についてお答えください。



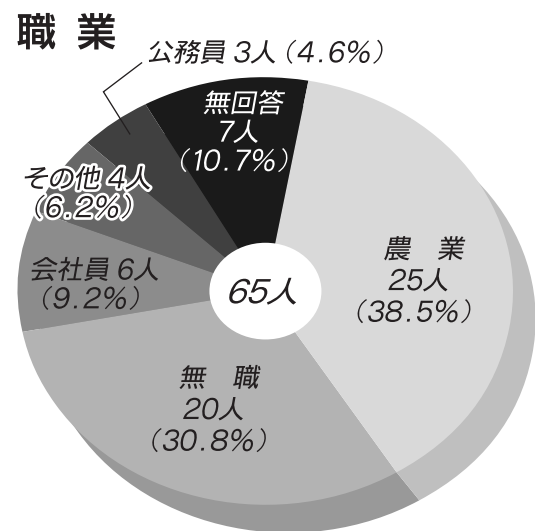
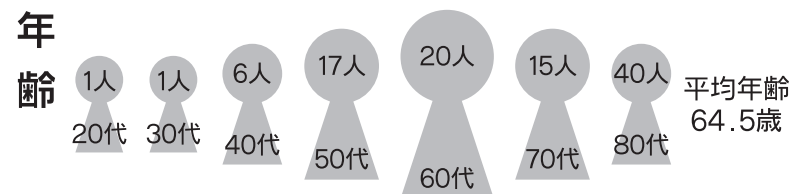
その他、事業としてイベントに参加し利益を自治会活動に使用している・防犯パトロール・認知症予防教室・忘年会、新年会・自治会祭、馬頭祭・親睦会、春秋祭り・盆踊り・軽油盗難防止チラシ配布・神社祭・勤労感謝祭・パークゴルフ・資源回収事業の利益を子ども会育成事業に充てている・道路の雑木切り、など

自治会の平均世帯数

48.22戸



自治会長さんの基礎データ



会長在職年数

平均 4.6年

最長では二十七年在職の自治会長さんもおいました。

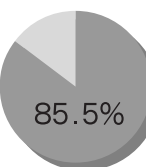
創立三十周年を迎え、自治会長さんを対象にアンケート調査をしました。今、自治会の現状はどのようなのか、自治会長さんの生の声から、自治会の運営、課題を把握し、これからの自治会活動の進展と支え合うまちづくりに生かすことが目的で、平成二十一年七月十七日に発送し、七月末までに回答をいただきました。その概要をお伝えいたします。

聞きました!

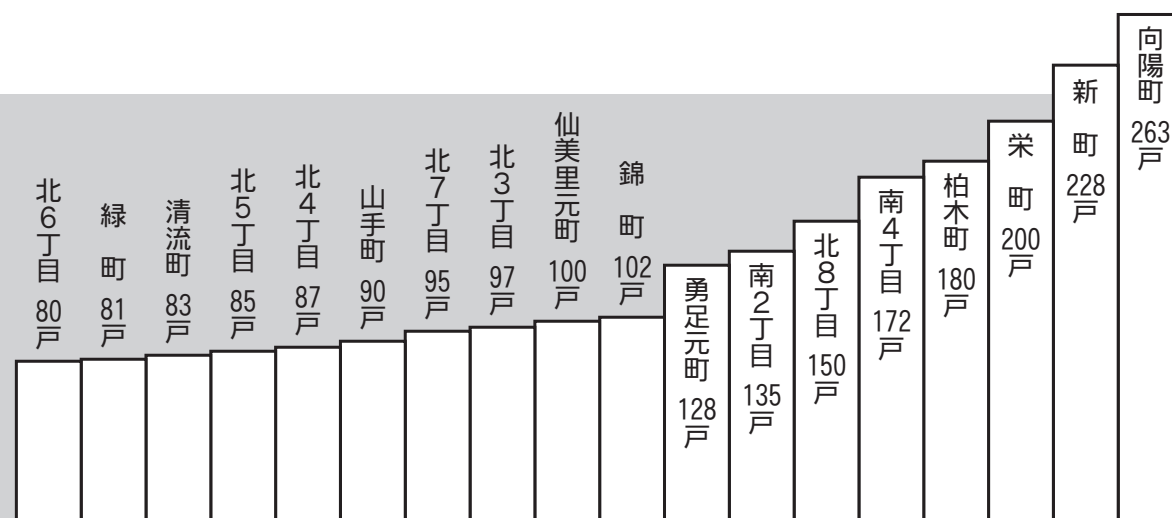
自治会長さんに

回収率

65自治会長 / 76自治会

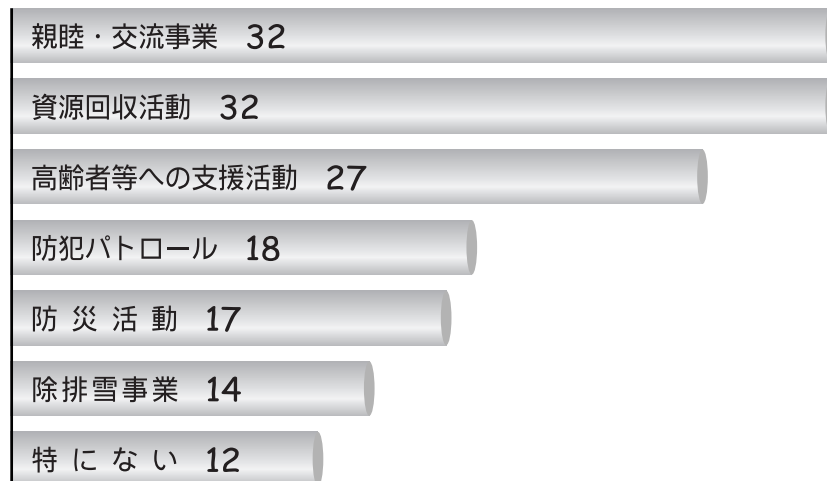


自治会の組織状況



貴自治会で、今後力を入れたい活動、または新しい取り組みは何ですか？【複数回答可】

質問5

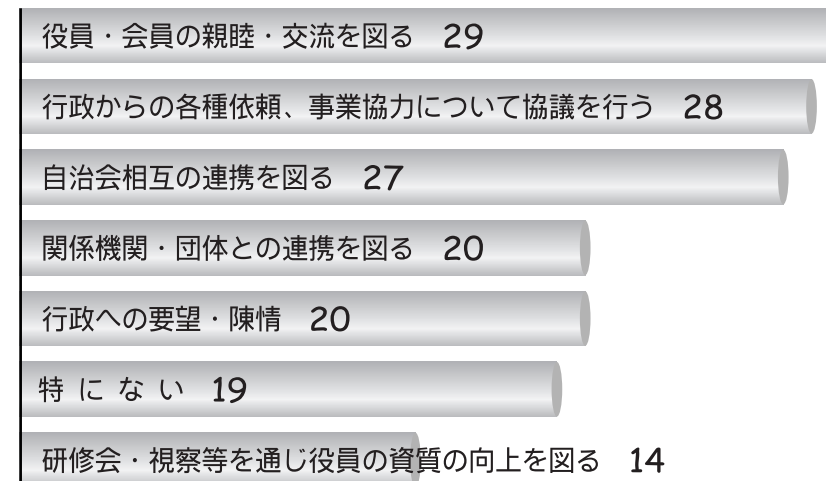


その他意見

- ・高齢化への対応が追いつかず、他の自治会の活動を参考にしたい
- ・銀河ロード事業に協力、高齢者障がい者用ベンチ設置の検討
- ・高齢者ばかりの自治会で会長一人がなばっても新しい活動は無理
- ・高齢者・一人暮らしの方々への目配り、気配り等を自治会全体の取り組みとした
- ・福祉事業に一般の方のボランティアを募集しているが参加が少ない状況

質問3

貴自治会で必要と感じる活動は何ですか？

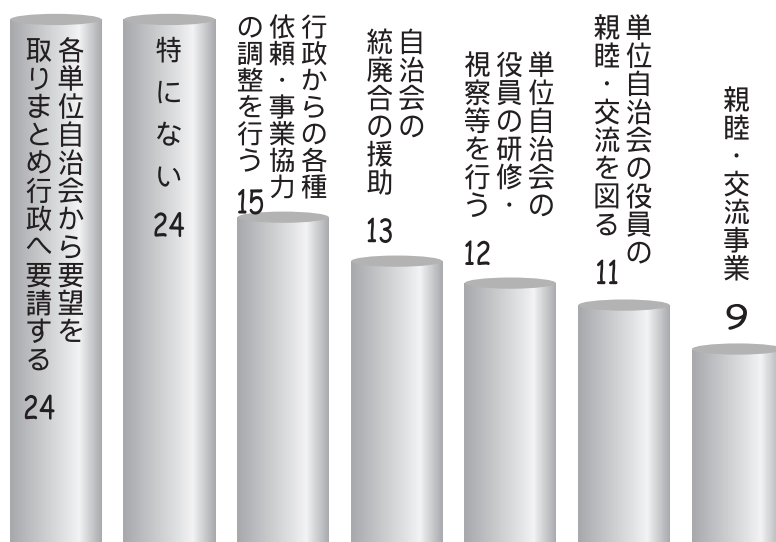


その他意見

- ・不景気のため何もできない
- ・高齢者福祉対策、防災対策、自治会への加入・退出のチェック
- ・個々の家庭の次に小さなコミュニティであることを考え、会員相互の交流を深めるようお願いしている
- ・各自治会も高齢化に伴い、葬儀等の互助会のような対応が必要ではないでしょうか

質問6

自治会連合会に、今後望むことは何ですか？【複数回答可】

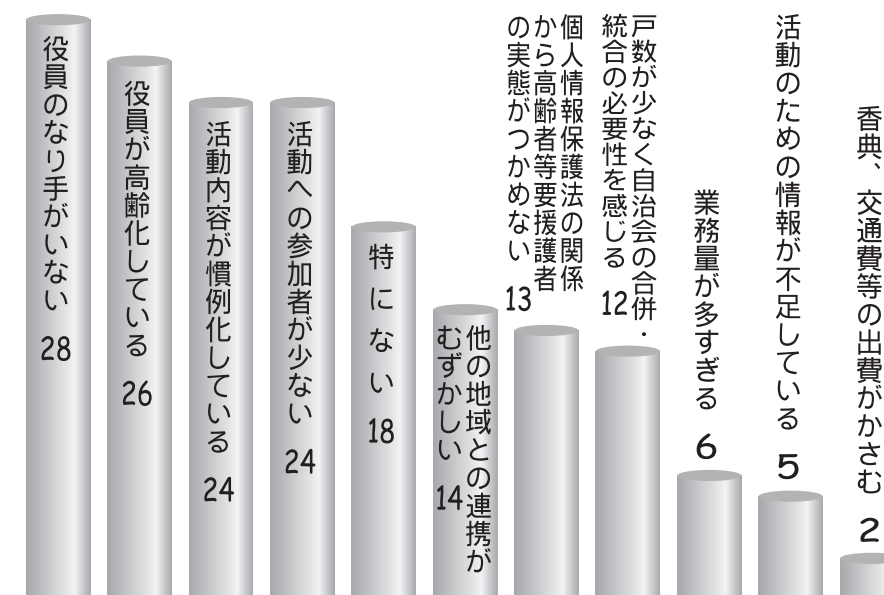


その他意見

- ・行政から自治会に業務依頼が多すぎる
- ・「協働のまちづくり」特に「福祉でまちづくり」では各自治会に指導を願いたい
- ・単位自治会での研修視察はむずかしいので、自治連の研修視察に一人でも多くの役員さんの参加を望みたい
- ・少子化対策
- ・新生活運動の推進
- ・開催時期は良くなかったが、自治連で要望した「町議会懇談会」は大変良い試みだと思います
- ・神社お祭り当番制の検討を
- ・役員が高齢化
- ・自治会長であっても協力するという意識が少なく、自治会連合会に参加してくれないのが悩みのたね

貴自治会の課題、悩みは何ですか？【複数回答可】

質問4



その他意見

- ・出席者を増やす特効薬はない
- ・七十歳を超えたら自治会活動に参加しなくなる
- ・葬儀の時の人手不足、協力者が少ない
- ・戸数は少ないけど協力し、利用するものは利用しているので合併統合は進めがたい
- ・昼間は全員が勤務しているのいろいろな活動には参加できない
- ・高齢者家庭や一人暮らし高齢者の除雪対策に問題あり

木札内	5戸
美栄	6戸
東本別	6戸
上拓農	7戸
清里	7戸
勇足西3	7戸
月見台	8戸
新生	8戸
仙美里2	8戸
奥仙美里	8戸
子工トイ2	8戸
東仙美里	9戸
勇足西5	9戸
仙美里1	10戸
美里別東上	10戸
勇足西2	10戸
勇足東5	10戸
明美	11戸

上仙美里	11戸
美里別高東	11戸
子工トイ1	11戸
仙美里3	12戸
美里別東下2	12戸
勇足東2	12戸
中学校	13戸
勇足西4	13戸
勇足東3	13戸
共栄1	13戸
中央小学校	14戸
勇足東4	16戸
追名牛	17戸
勇足西1	17戸
高等学校	19戸
負籠1	19戸
仙美里ヶ丘	20戸
活込	21戸
美里別東下1	21戸
負籠2	21戸

本別町自治会連合会 創立三十周年 記念式典

本別町自治会連合会（佐々木哲夫会長）創立30周年の節目を祝う式典ならびに講演会が11月6日、自治会関係者など約150人が出席し中央公民館で開催されました。

式典では、佐々木会長が「昭和54年11月の設立以来、単位自治会のまとめ役として、その時々地域の課題や大きく変化する生活環境などに対応し、住みよい地域社会を目指し、安心して暮らせる温かな地域社会を築くために、住民、地域、行政が一体となった活動を展開してまいりました。その結果、本別ならではの呼ばれる、一歩先をいく協働社会を築き、評価されることは、本連合会の誇りとするところでもあります。これからの時代、住民主体となった地域活動がさらに求められます。私たちは、今こそこれまで培ってきた町民力をいかに発揮し、より柔軟な発想と機敏な行動力をもって、当面する課題に立ち向いながら、確実に克服し、歩み続ける所存であります。本連合会のさらなる発展のため、今後も皆様方の一層のご指導、ご支援をお願いします」とあいさつ。続いて、今まで自治会連合会に功績のあった7人に表彰状と記念品が贈られました。

高橋正夫町長、笠原求議長、内田秀雄十勝支庁地区町内会連絡協議会会長がお祝いの言葉を述べた後、受賞者を代表して松井啓さんが「今日の感激を胸に、より一層の協力をしていきたい」とお礼を述べました。

式典終了後には、北翔大学大学院生涯学習学研究所の谷川松芳教授を講師に招いた、「自治会活動によるまちづくり」と題した講演会が実施され、これからのまちづくりについて考えました。



功績者表彰

功績表彰者

- 故 田 中 稠 人 様 (北5丁目)
- 故 高 坂 義 久 様 (南1丁目)
- 故 鷺 巢 直 樹 様 (緑 町)
- 横 山 利 光 様 (仙美里元町)
- 椿 原 安 夫 様 (錦 町)
- 松 井 啓 様 (山手町)
- 廣 田 眞 一 様 (北6丁目)



祝辞を述べる、高橋正夫町長(右)と笠原求町議会議長(左)



受賞者を代表してお礼を述べる松井啓さん



式辞を述べる佐々木哲夫会長

記念講演会

本別町自治会連合会三十周年記念講演会が十一月六日、本別高校出身で現在北翔大学大学院生涯学習学研究所の谷川松芳教授を招き、「自治会活動によるまちづくり」をテーマに中央公民館で開催されました。



講演する谷川教授

町民一人ひとりが主人公

谷川教授は、「本別町は自治会を通じて、隣近所で支え合いながら地域を作ることができる町。自治会はその考えを共有したり、他人との交流が始まる場所。それによって、人間関係や心も豊かになる。私たちの暮らしを守るためにも自治会が必要である」と述べられ、「本別町の主人公は町民一人ひとり。その町民が自律してやるのが自治会活動である」と話しました。

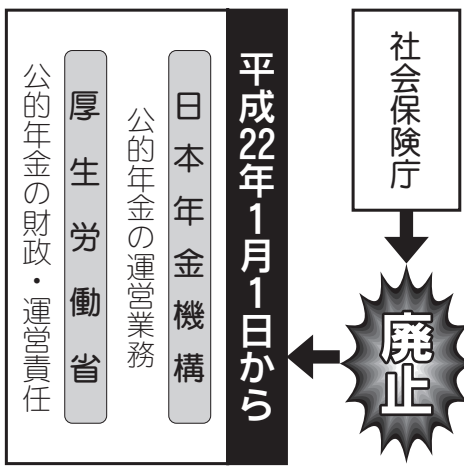
これからは、本別の良さをアピールするために公民館や地区集会所などの公共施設を有効利用し、人が集まる場所をつくり、そこで学び活動しながら、一人ひとりがほんべつの自慢をもっと広く外へ発信することが必要であると提案されました。最後に、「僕のふるさとほんべつ、私のふるさとほんべつを胸に発展する町づくりに努力いただきたい」と述べ、約160人の出席者は自治会活動の大切さを学びました。

国民年金 コトナリ

その92

社会保険庁が廃止され
「日本年金機構」が
来年1月1日から
スタートします

国民の皆様への信頼に応え、一層のサービス向上の実現を目指し、社会保険庁は組織・人員を一新し、「日本年金機構」として生まれ変わります。



○現在ある社会保険事務所は、新たに「年金事務所」と名称が変わりますが、年金相談などの窓口として引き続きご利用いただけます。また、「年金事務所」は、現在ある社会保険事務所の建物をそのまま使用しますので、所在地に変更はありません。

○「日本年金機構」の設立に伴い、これまで社会保険庁や社会保険事務所の名義でご案内していた各種の関係書類は、内容により、今後は厚生労働省または日本年金機構の名義でご案内させていただきます。

○「日本年金機構」は、社会保険庁から公的年金の運営業務を引き継いで行うこととなりますが、公的年金制度は、国の制度として、その財政や運営に国が引き続き責任を持つことについては、これまでと変わりません。

「お問い合わせ先」

帯広社会保険事務所

0155-25-8113

住民課戸籍年金担当

022-8128 (課直通)



平成20年度版

わがマチ マイタウン本別」の「だしいどころ

このように使われました!

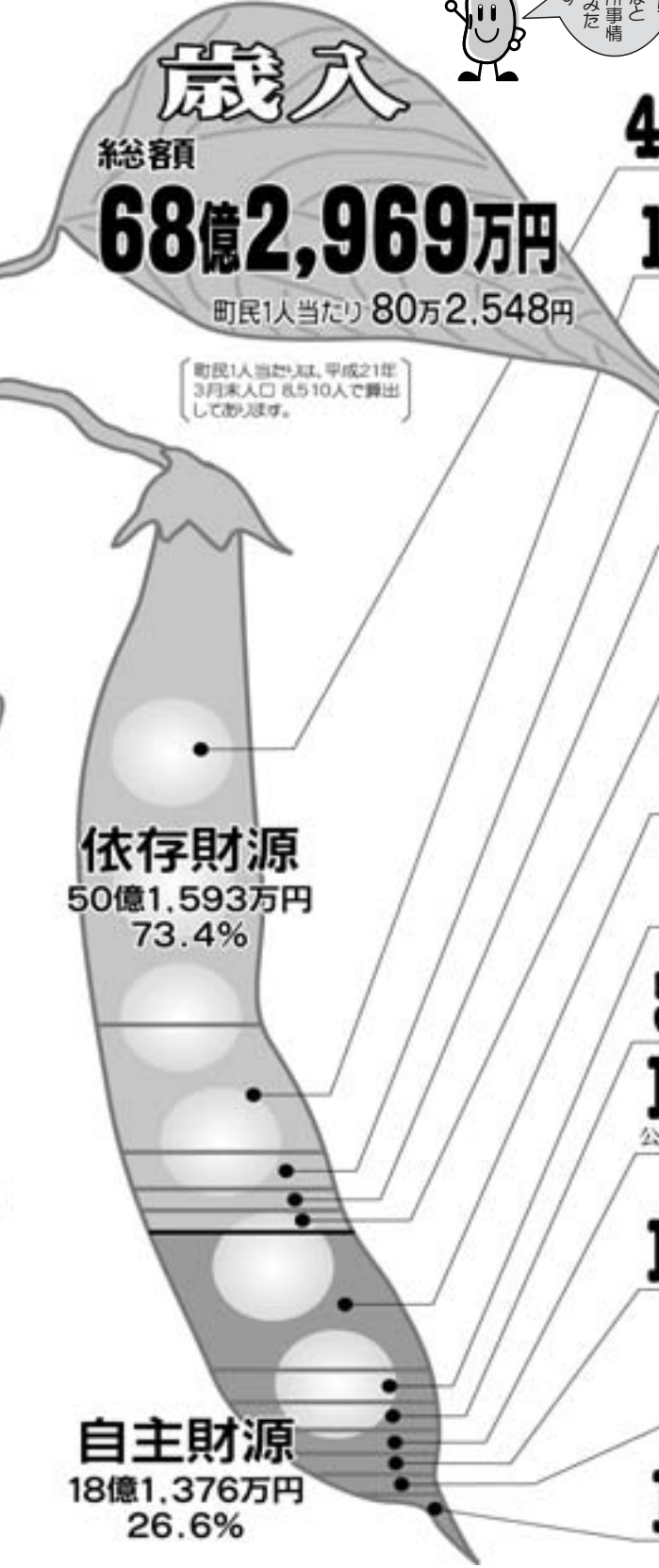
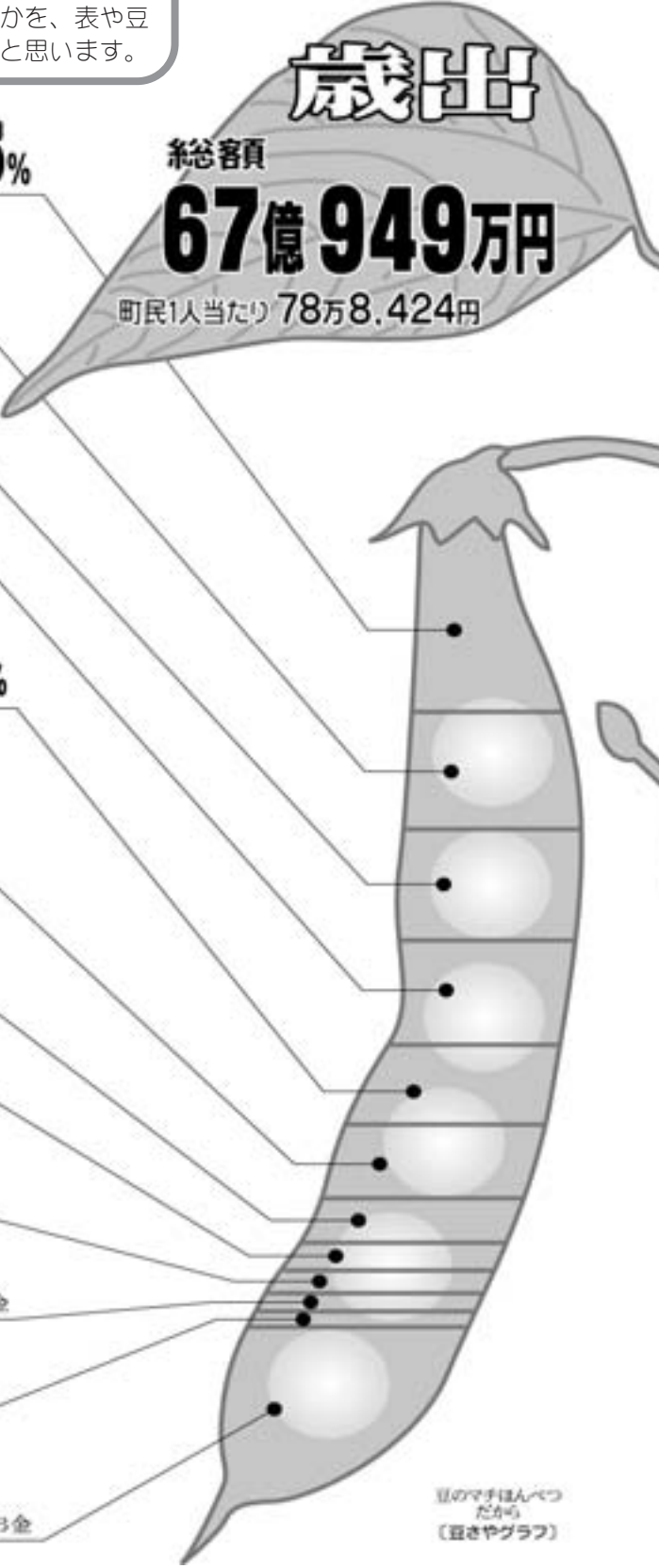
平成20年度の各会計の決算状況がまとまりました。皆さんから納めていただいた大切な税金や国・道からのお金などが、どのように入ってきて(歳入)、どのように使われたか(歳出)、また、今の本別町には財産や預金、借入金などがどれくらいあるのかを、表や豆グラフを使ってできるだけわかりやすくお知らせしたいと思います。

一般会計の決算状況

僕、元氣くん!
今日は、みんなと一緒に町の会計事情について話してみようかな。

依存財源：国や道の決定や割り当てに基づいて入ってくるお金
のことで、地方交付税や国庫支出金・道支出金のほか、地方譲与税、各種交付金、また、地方債(町債)もこれに該当します。
自主財源：町税などの町に収めていただくお金のことで、他に分担金および負担金、使用料および手数料、寄付金、繰越金等があります。財政の自主性と安定性を確保する上では、自主財源の割合ができるだけ高いことが望ましいです。

- 公債費** 10億3,675万円 1人あたり 12万1,827円 **15.5%**
事業を行うために借りたお金の返済に使われるお金
- 土木費** 7億8,745万円 1人あたり 9万2,532円 **11.7%**
道路の改良や維持、公営住宅の建設や維持などに使われるお金
- 衛生費** 7億7,166万円 1人あたり 9万6,766円 **11.5%**
保健事業やゴミ処理など、健康と衛生的な環境を維持するために使われるお金
- 民生費** 7億4,456万円 1人あたり 8万7,492円 **11.1%**
児童や高齢者福祉の推進、社会福祉充実のために使われるお金
- 農林水産業費** 6億2,289万円 1人あたり 7万3,195円 **9.3%**
農業・林業の発展のために使われるお金で、農林道の整備、農業用施設・機械購入などに使われるお金
- 総務費** 5億8,740万円 1人あたり 6万9,024円 **8.8%**
町の企画や防災、造成、選挙、庁舎の維持管理などに使われるお金
- 教育費** 3億7,483万円 1人あたり 4万4,045円 **5.6%**
小学校・中学校での教育や社会教育(学校教育以外の教育)などに使われるお金
- 消防費** 2億3,802万円 1人あたり 2万7,969円 **3.5%**
池北3町行政事務組合への負担金に使われるお金
- 商工費** 1億8,291万円 1人あたり 2万1,493円 **2.7%**
商工業の発展・振興などに使われるお金
- 災害復旧費** 184万円 1人あたり 216円 **0.1%**
台風や地震など、災害で被害を受けた施設の復旧に使われるお金
- その他** 5,294万円 1人あたり 6,220円 **0.7%**
議会の運営、勤労者対策などに使われるお金
- 職員費** 13億824万円 1人あたり 15万3,729円 **19.5%**
職員(臨時職員や施設の管理人も含む)の給料などに使われるお金



- 地方交付税** 32億3,981万円 1人あたり 38万7,066円 **47.4%**
15ページに掲載しています
- 国・道支出金** 10億6,566万円 1人あたり 12万5,224円 **15.6%**
国や道から入ってくる使い道の決まっているお金
- 町債** 3億7,939万円 1人あたり 4万4,581円 **5.6%**
町が事業を行うために借り入れたお金で、いわゆる借金のことです
- 地方譲与税** 1億8,160万円 1人あたり 2万1,339円 **2.7%**
自動車重量税や地方道路税など、徴収の利便性から一旦国税として徴収された後、市町村に一定の基準により譲与される税です
- その他** 1億4,947万円 1人あたり 1万7,564円 **2.2%**
交通安全対策特別交付金や地方消費税交付金など、国や道から交付されるお金です
- 町税** 9億3,872万円 1人あたり 11万3,077円 **13.7%**
町民の皆さんに納めて頂いた税金のうち、直接、町に入る税金で、町民税・固定資産税などです
- 繰入金** 2億8,086万円 1人あたり 3万3,003円 **4.1%**
貯金(基金)を取り崩したお金です
- 諸収入** 2億1,893万円 1人あたり 2万5,726円 **3.2%**
貸付金元利収入や介護保険収入、貯金利子などのお金
- 使用料および手数料** 1億2,421万円 1人あたり 1万4,595円 **1.8%**
公共施設の使用料や役場で発行する証明書類の発行手数料などです
- 寄付金および財産収入** 8,897万円 1人あたり 1万4,544円 **1.3%**
町民の皆さんから頂いた寄付金や、財産運用(土地の貸し付けなど)によるお金などをまとめてみました
- 繰越金** 8,275万円 1人あたり 9,723円 **1.2%**
前年度に残ったお金
- 分担金及び負担金** 7,932万円 1人あたり 9,320円 **1.2%**
農家の人が納める土地改良などの受益者分担金、老人ホーム入所負担金や保育料などです

豆のマチは1ペタだから(豆さやグラフ)

地方交付税

地方交付税は、国から交付される町の大きな収入源となっています

地方交付税は、法に基づき交付されるものです。うち普通交付税が、右のトラ豆グラフのとおり町の重要な収入源になっています。

- さて、普通交付税がどのように計算されるかという点、
- 全国的に標準となる町のモデルを作る
- このモデルの必要な経費を計算する
- 本町分は、このモデルの経費を補正して計算する
- でた経費総額から本町の収入を差し引く

このように計算したものが、町の普通交付税収入です。

地方交付税には2種類あります

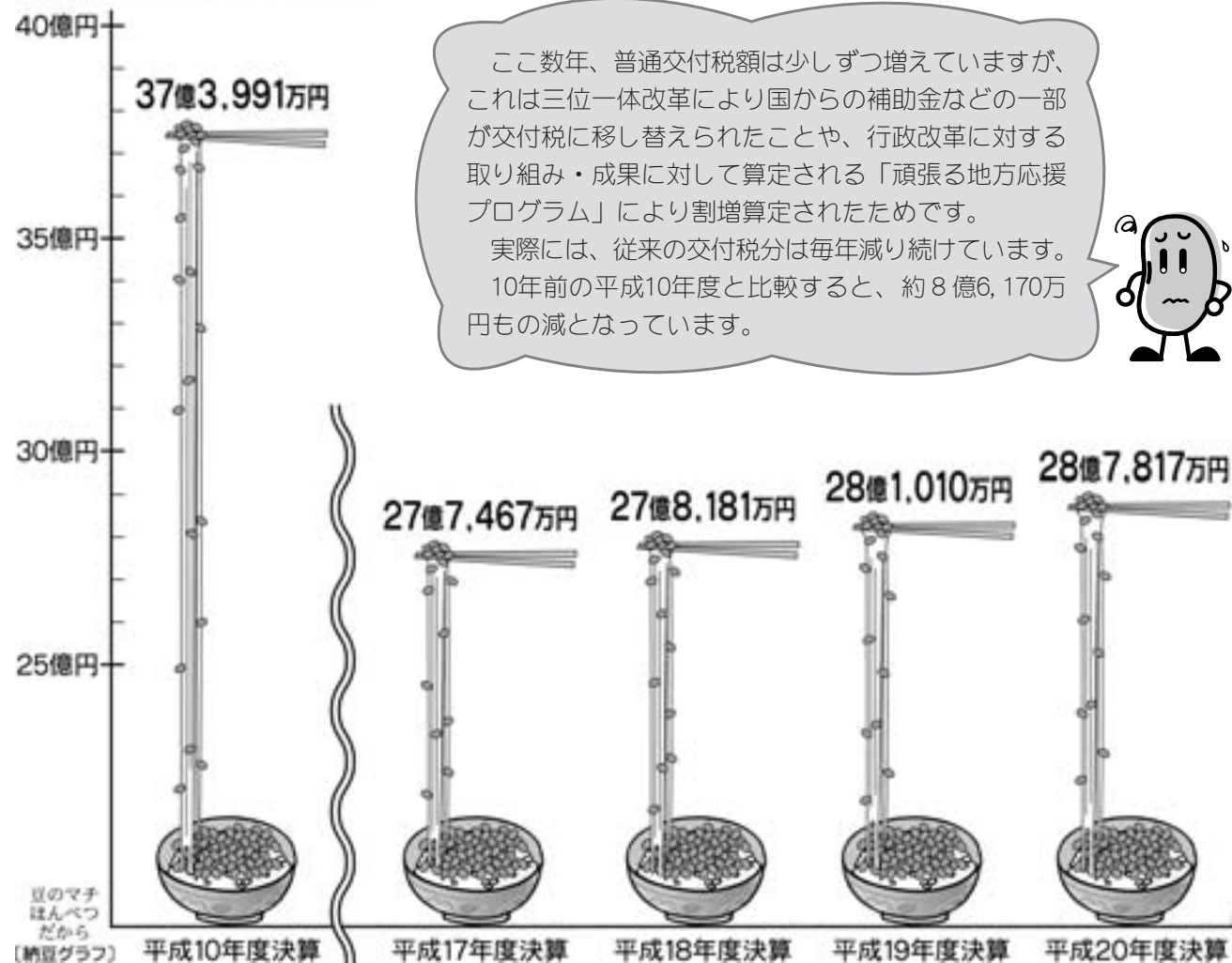
地方交付税には、普通交付税と、特別交付税があります。大きなものが普通交付税で、特別交付税は、災害があった時など特殊な事情に対して交付されます。

国の財政事情の厳しさが普通交付税に反映

国が普通交付税を地方自治体に交付するためには、国税（所得税・酒税・法人税・消費税・たばこ税）収入が必要です。この国税収入の減少および三位一体の改革により、本町への普通交付税も減少しています。

どれだけ減ってきたのかは、下の納豆グラフの通りです。

普通交付税の推移

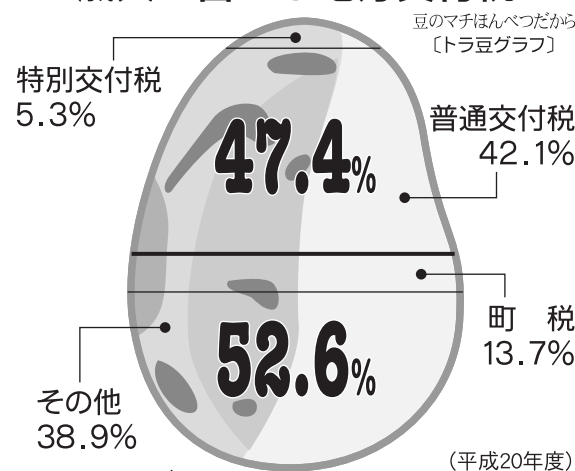


ここ数年、普通交付税額は少しずつ増えていますが、これは三位一体改革により国からの補助金などの一部が交付税に移し替えられたことや、行政改革に対する取り組み・成果に対して算定される「頑張る地方応援プログラム」により割増算定されたためです。

実際には、従来の交付税分は毎年減り続けています。10年前の平成10年度と比較すると、約8億6,170万円もの減となっています。

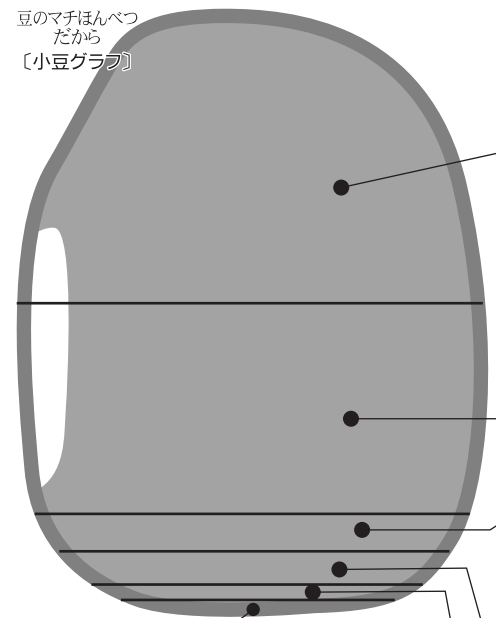


歳入に占める地方交付税



本別町の財政が厳しくなっている原因は、この普通交付税が大幅に減額されてきたことによるものです。

町税の内訳



総額 9億3,872万円

町民1人あたり 11万307円

固定資産税 4億4,744万円
1人あたり 5万2,578円
土地や家屋、償却資産の所有者にかかる税金です

町民税(個人) 3億4,954万円
1人あたり 4万1,074円
収入のある町民の皆さんにかかる税金です

町民税(法人) 6,280万円
1人あたり 7,379円
町内に事務所・事業所がある会社や団体などにかかる税金です

町たばこ税 6,190万円
1人あたり 7,273円
たばこ販売業者が、町内のお店などに売り渡したときにかかる税金です

軽自動車税 1,425万円
1人あたり 1,674円
50ccバイクや軽自動車、農業用トラクターなどの使用者にかかる税金です

入湯税 279万円
1人あたり 327円
町内の温泉に入浴された人にかかる税金です

税金は貴重な財源!

皆さんに納めていただいている税金には町に直接入るものと、国・道に入るものがあります。直接町に入る町税は、収入の13.0%を占めているため、長引く不況の影響で税金の収入が伸び悩み、町の財政運営も厳しくなるのです。

一般会計の財産および預金等の状況

財産の状況

公有財産 土地	1,559ha
公有財産 建物	10万6,982㎡
山林	1,248ha
有価証券および出資金	7,462万円
車両	59台



財政調整基金：
町の財源の調整をするための預金
減債基金：
借入金の返済に充てるための預金



町にも預金があるんです

町も皆さんの家庭と同じように、余裕のあるときには預金を積み立てて、大きな事業を行うときにやりくりが苦しくならないようにしています。

預金(基金)等の状況

基金等の種別および目的		平成20年度末現在高
積立基金	財政調整基金	8億4,660万円
	減債基金	4億1,641万円
	福祉の充実	1億9,940万円
	産業の振興	7,604万円
	教育・文化・スポーツの振興	7,865万円
定額運用基金	その他	7億8,719万円
	土地開発	2億9,242万円
その他		7,536万円
合計	計	26億8,889万円

一般会計の借入額



借入金(町債)の状況

借入の目的	平成20年度借入額
農林道および農業基盤整備	570万円
道路新設改良舗装	5,680万円
公営住宅建設	2,969万円
地上デジタル中継局の整備	1,360万円
集会場の新築	3,430万円
医療機械器具の購入	590万円
旧駅舎及び周辺整備	6,300万円
その他(臨時財政対策債)	1億7,040万円
合計	3億7,939万円



栄町公営住宅

なぜ借入金(町債)をするの?



町で行う大きな事業には、国からの許可を受けてお金を借りるものがあります。当然その年度の収入だけでは足りないから借りるのですが、また違った意味もあるのです。皆さんが納めた税金などを使って10年、20年かけて借入金を返済していくことにより、長く使われる施設は、「使用する世代みんなで負担しよう」という意味もあるのです。

そして、返済金の一部を国が負担してくれる有利な借入れを選択したり、以前に借りた利率の高いものを現在の利率の低いものに借り換えたりして、町の負担が少しでも小さくなるようにやり繰りをしているんですよ。



道の駅

マチの借入金現在高(平成20年度末)

総額 134億2,613万円

町民1人当たり 157万7,690円

	内 訳	金 額	町民1人当たり
一 般 会 計	道路新設改良舗装	19億8,006万円	23万2,675円
	農林道および農業基盤整備	11億8,019万円	13万8,684円
	公営住宅建設および改良	6億7,561万円	7万9,390円
	学校建設および改築	4億3,532万円	5万1,154円
	災害復旧	9,898万円	1万1,631円
	その他	27億8,049万円	32万6,732円
	小 計	71億5,065万円	84万 266円
特 別 会 計 ・ 企 業 会 計	病院事業	14億8,790万円	17万4,841円
	簡易水道	5億5,592万円	6万5,325円
	公共下水道	35億1,209万円	41万2,702円
	上水道	7億1,957万円	8万4,556円
	小 計	62億7,548万円	73万7,424円

借入金って、あとどれくらい残っているの?



特定の収入で運営される特別会計や企業会計を除く、平成20年度末の現在高は71億5,065万円で、町民1人あたり約84万円となっています。

地方交付税などの収入が大きく落ち込んでいることから、いっそうの経費節減などを実施して今後の返済計画を立てています。

平成20年度主な事業

～一般会計分～

ふれあい・豊かな心を育むまちづくり

柔剣道場床改修および暖房機改修 事業費 1,628万円
(財源内訳) 補助金 88.3% 一般財源 11.7%

自然にやさしい心を大切に潤いのあるまちづくり

日本別駅舎および周辺整備 事業費 1億6,520万円
(財源内訳) 補助金 58.8% 借入金 38.1% その他 0.5% 一般財源 2.6%

栄町団地公営住宅建替事業 事業費 6,238万円
(財源内訳) 補助金 49.9% 借入金 47.6% 一般財源 2.5%

町道農業大学校前道路改良舗装 事業費 2,300万円
(財源内訳) 補助金 65.0% 借入金 33.9% 一般財源 1.1%

町道栄町14号通り外道路改良 事業費 1,880万円
(財源内訳) 借入金 90.0% 一般財源 10.0%

町道上押帯幹線道路改良 事業費 3,850万円
(財源内訳) 補助金 65.0% 借入金 34.8% 一般財源 0.2%

「いいと いいお いいき けんぱつ」を合言葉に「人にやさしいまちづくり」を目標として

町では、まちづくりの長期計画として、第5次総合計画(平成13年度～平成22年度)を定め、分野項目に分類して各種事業を実施しています。

健やかであたたかな心あふれるまちづくり

緊急通報システム装置 事業費 893万円
(財源内訳) 補助金 97.2% 一般財源 2.8%

大地の心に響きわたり活力にみちたまちづくり

加工用馬鈴薯貯蔵施設 事業費 4億7,495万円
(財源内訳) 補助金 100.0%

道営土地改良事業 事業費 2,016万円
(財源内訳) 借入金 28.3% その他 25.6% 一般財源 46.1%

ポテトハーベスター導入 事業費 1,573万円
(財源内訳) 補助金 100.0%

本別町地区畜産環境整備事業 事業費 1,170万円
(財源内訳) その他 100.0%

特別会計・企業会計の決算状況

企業会計

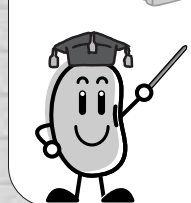
	歳入	歳出
国民健康保険 病院事業会計	12億2,832万円	13億7,280万円
	6,709万円	9,185万円
水道事業会計	1億4,747万円	1億4,378万円
	3,688万円	8,520万円

特別会計

	歳入	歳出
国民健康保険特別会計	14億 746万円	13億4,030万円
老人保健特別会計	1億8,012万円	1億5,777万円
介護保険事業特別会計	6億9,815万円	6億9,725万円
介護サービス事業特別会計	2億4,566万円	2億4,450万円
簡易水道特別会計	1億4,411万円	1億4,211万円
公共下水道特別会計	8億2,564万円	8億2,154万円
後期高齢者医療特別会計	9,282万円	9,269万円

会計がなるの? どうして

町では事業を効率よく運営していくために、大きく三つの財布(会計)に分けています。一般会計は、町政を運営するための中心となる経理をするための財布、特別会計は特定の収入・支出を他のものと区別して経理するための財布、企業会計は、一般会計・特別会計とは全く違い、独立採算制を基本としているので、民間の会社のような会計になっています。



一般財源：何にでも使えるお金で、例えば町税・地方交付税などです
収益的収支：事業活動に伴い発生が予定されるすべての収益と費用のことです
資本的収支：将来の事業活動に備えて行う建設改良および建設改良にかかる企業債償還金などの支出とその財源となる収入のことです

本別町文化祭

平成21年度 本別町スポーツ賞 スポーツ奨励賞 文化奨励賞 授賞式

平成21年度本別町スポーツ賞・スポーツ奨励賞・文化奨励賞授賞式が、11月3日中央公民館大ホールで開催され、スポーツ賞に宮崎統さんと中山博志さん、スポーツ奨励賞、文化奨励賞には3個人、2団体が受賞しました。

若木佳則教育委員長があいさつし、澤田満教育長の事績発表の後、受賞者に賞状等が手渡されました。

受賞者を代表してスポーツ賞を受賞した宮崎さんが「この受賞を契機に、文化・スポーツの重要性を再認識し今後も精進していきたい」とお礼の言葉を述べました。



スポーツ賞受賞の宮崎統さん



文化奨励賞受賞の本別高等学校吹奏楽部の皆さん



11



12



13



14



15

11民謡 12伝承文化 13郷土舞踊
14フォーク 15約300人の観客



6



7



8



9



10

①お茶会 ②将棋コーナー ③囲碁コーナー ④おはなし広場 ⑤華道
⑥沖積土販売 ⑦菊花 ⑧手芸 ⑨写真 ⑩生け花



1



2



3



4



5

文化祭は多くの皆さんの晴れ舞台。普段とは違った自分を表現したり、日ごろの練習の成果を披露したり…。そんな、本別町文化祭が今年も十一月一日から三日まで、中央公民館を主会場に開かれ、菊花や陶芸などの作品展示、囲碁・将棋コーナーやお茶会などの催し物、民謡やバレエなどの芸能発表に、多くの皆さんが学習の成果の花を咲かせました。

文化祭で一番にぎやかなのが、三日の文化の日です。中央公民館では「お茶会」「囲碁・将棋コーナー」などが催されたほか、数々の個性あふれる作品が展示されました。午前十時からスポーツ賞等の授賞式が執り行われ、午後五時三十分から始まった「芸能発表会」には約三〇〇人の観客が詰め掛けるなど、一日を通して多彩な催し物が開かれました。来場者は、丹精込めて作られた作品に感心し、芸能発表会の出演者には温かい拍手を送りました。文化祭では、目指していた日ごろの練習の成果を「発表する喜び」、多くの皆さんが鑑賞し「感動する喜び」を分かち合える喜びがそこに生まれていました。

『ほんへつ馬文化』 資料館企画展



本別町の人と馬のかかわりを伝える、貴重な資料が展示されている歴史民俗資料館



本別での生活や馬への熱い想いを話す、鳴海 章さん



真剣な眼差しで講演を聞く参加者

開拓、林業、戦争、娯楽など本別町の歴史の中でも重要な、人と馬のかかわりを伝える歴史民俗資料館企画展が10月27日から同館でスタートしました。

会場には、開拓時の農耕に携わる馬の資料や本別町にあった陸軍軍馬補充部十勝支部から戦地へ送り出された馬の写真など、当時の貴重な資料が数多く展示されています。

また、11月7日には図書館との連携事業として、4歳から6歳までの3年間を本別町で過ごした、江戸川乱歩賞受賞作家の鳴海章さんによる「本別と私」と題した講演会が図書館で開催されました。

鳴海さんは、著書である「鞍馬」「いのちに抱かれて」を紹介しながら、ばん馬は、農家が作った貴重な文化であるが、現在は馬の数も激減し生産者は身銭を切って生産している実態を紹介。この貴重な文化を残していくためには、ばんえい競馬の馬券購入の支援が必要と強調しました。その中で、主人公が勇足地区の農家をイメージした「家族ばんばん」を執筆中であることにも触れました。

最後に、本別町での幼少時を振り返り、隣り近所との交流など、生活するための大切な部分を見せてくれたのが本別であったと話し、「自分の産まれたところで生産されたものが一番うまいという誇りが持てれば生産者も消費者もやっていけるのでは」と語り、訪れた同級生など約50人は鳴海さんの馬を想う熱い話に真剣な眼差しで聞き入っていました。

※歴史民俗資料館企画展は1月30日まで開催していますので、ぜひお越しください

interview

11月2日から町国民健康保険病院の内科医長に竹本尚史医師（35歳）が就任し、診療にあたっています。

竹本医師は広島県出身。平成11年に札幌医科大学医学部を卒業後、同大学附属病院臨床研修医として1年間勤務し、主に消化器および血液疾患を学ぶ。翌年4月から同大学大学院医学研究科に入学し、平成16年3月卒業。その間、主に道内の公立病院に勤務。卒業後は民間病院などを経て、平成18年8月から自らの医療の知識を広げるため、ミシガン州立大学付属地域医療センターで家庭医療学研修医として3年間勤務されました。奥さんと長女の3人家族。趣味はスノーボード。



家庭医療学を生かして、往診や在宅医療、
初診外来の患者さんを支えたい

町国保病院内科医長に 竹本尚史なお ふうみ医師が 着任しました

竹本医師は、「アメリカ在住のころと環境が似ているため違和感はない。自然が多い。患者さんが良い人」と本別の印象について語ってくれました。

本別に来たきっかけは、「道内での生活が長かったことと、道内の医師不足。特に小さな町で、自身が目指す家庭医療ができる可能性があるため」と話され、本別では、「アメリカでの三年間のプランクがあるため、まずは慣れること。高齢者が多いことか

ら、往診や在宅医療にも力を入れたい。外来では、初診で訪れた患者さんをフォローしていきたい」と力強く抱負を述べられました。また、自身のモットーである患者さんを良く知り、親しい間柄になるために、「聞かれなければ、答えない」ではなく、「病気のことをなんでも相談できる」体制作りにも努めたいと強調。

プライベートでは、「運動不足解消のため水泳などの運動を始めたい」と、こやかに答えていただきました。

家庭医療学

一言でいうと、医療のなんでも屋さん。一般的な病気の80%をカバー。全ての外来患者（新生児から高齢者）に対処することが可能。

予防接種 順次受付中

町では町国保病院および幡
医院において、十一月中旬
から妊婦さん・基礎疾患
(最優先)のある方々に対
して新型インフルエンザ予
防接種を開始していま
す。

十二月上旬からは
基礎疾患(その
他)のある方々、
十二月中旬から
は、一歳から就
学前の幼児と小学
生・一歳未満児等
の保護者への接種が
始まります。

優先接種対象者と 接種のスケジュール

新型インフルエンザワクチンは、当面供給できる量に限りがあるため、国はより必要性の高い方々に接種の機会が提供されるように、重症化しやすい対象者から優先的に接種できるように次のスケジュールを決めています。

対象	接種開始日
妊婦 基礎疾患(最優先)	11月16日 ※予約受付中
基礎疾患(その他)	12月2日 ※予約受付中
1歳から就学前の幼児 小学1～3年生 1歳未満児などの保護者 小学4～6年生	12月中旬 ※予約受付中
中学生、高校生、高齢者	もう少しお待ちください

知っておこう

新型インフルエンザ

基礎疾患のある人の接種には、原則「優先接種対象者証明書」が必要です

- 町国保病院および幡医院に通院中の人
 - ① 間近に受診予定の人…受診の際に主治医にご相談のうえ、「優先接種対象者証明書」を発行していただきます
 - ② 当面、受診予定がない人…予約の前に町国保病院および幡医院に照会し、基礎疾患に該当するかどうかを事前確認しますので、お電話などで健康管理センターにお問い合わせください

※外来の混雑を避けるための対応ですので、ご協力願います
- 町外の病院に通院中の人…通院している医療機関で接種することもできますが、地元の病院での接種を勧められた場合は、主治医に「優先接種対象者証明書」の発行を依頼してください

基礎疾患の判断は主治医が行います

優先接種対象となる「基礎疾患」とは、慢性の呼吸器疾患・心疾患・腎疾患・肝疾患、神経疾患・神経筋疾患、血液疾患、糖尿病、疾患や治療に伴う免疫抑制状態の人、小児科領域の慢性疾患のある人などを指します。

「基礎疾患」に該当するかどうか、「最優先」か「その他」か等については通院している医療機関の主治医が国の基準により判断します。

町内での接種場所および接種日

- 町国保病院
毎週月曜日・水曜日：午後3時30分～5時
- 幡 医 院
12月9日(水)：午前9時～午前11時30分
：午後1時30分～午後5時
※12月9日以降の日程については、健康管理センターへお問い合わせください

接種回数

- 1回接種
妊婦、高齢者、基礎疾患のある人、一歳未満児等の保護者
※免疫機能が落ちている基礎疾患のある人は、医師の判断で二回接種できます
- 2回接種
一歳から就学前の幼児、小学生、中高年生
※ただし、中高年生については今後の臨床試験の結果によって検討します

接種費用 および本別町の 助成について

1回目は3,600円
2回目は2,550円

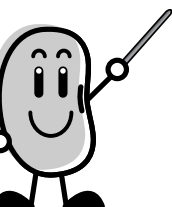
所得の少ない世帯については接種費用の負担を免除(無料)します。また、課税世帯の「妊婦・幼児・小学生・1歳未満児等の保護者」については、費用の半額を助成します。

『費用負担免除対象者』

優先接種対象者で町民税非課税世帯に属する人(生活保護含む)

『半額助成対象者』

優先接種対象者の妊婦・1歳から就学前の幼児・小学生・1歳未満児等の保護者で町民税課税世帯に属する人



予防接種は予約が必要です お申し込みには印鑑をお持ちください

接種を希望される人は、下記に来所のうえお申し込みください。
お申し込み時には、税情報などに関する同意書が必要となりますので、印鑑をお持ちください。

- 健康管理センター(北6丁目) ☎ 22-2219
- 保健福祉課(北2丁目) ☎ 22-8130

<http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp>

詳しい情報は本別町のホームページをご覧ください

お知らせ 新型インフルエンザ

インフルエンザに関するお問い合わせは健康管理センターへ ☎ 22-2219

『地方公共団体の財政の健全化に関する法律』 に基づく健全化判断比率等を公表します

町のホームページ <http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp/> でもご覧になれます

『地方公共団体の
財政の健全化に関する法律』
の規定により毎年度地方公共団体の
決算状況を連結ベースで財政分析する、
健全化判断比率等の算定および
公表が義務付けられました。

地方公共団体の財政の 健全化に関する法律とは

これまでの自治体再建法では、地方公共団体の普通会計において赤字額が標準財政規模の二〇％（道府県は五％）を超えるといきなりレッドカードが出て財政再建団体となり、イエローカードともいえる注意喚起の段階がありませんでした。また、特別会計や企業会計にいくらか累積赤字があっても財政再建団体とはなりません。

この法律では、「早期健全化」と「財政再生」の二段階で財政悪化をチェックするとともに、特別会計や企業会計もあわせた連結決算により地方公共団体の財政状況をより明らかにしようとするものです。

○財政再生団体（レッドカード）の前に、早期健全化団体（イエローカード）の段階が設けられました

○地方公共団体の本体に公営企業・一部事務組合・第三セクターなども加えて判断するようになりました

○単年度の現金収支に加えて、過去からの累積に基づく基準ができました（将来負担比率）
○公営企業の経営に関して、経営の健全化を促す基準ができました（資金不足比率）



早期健全化団体になると

健全化判断比率指標のいずれかが早期健全化基準を上回ると、財政健全化計画の策定（議会の議決）、外部監査の要求が義務づけられ、計画の実施状況を毎年度議会に公表し、早期健全化が著しく困難と認められるときは知事から必要な勧告が行われます。
（平成二十年決算から適用）

財政再生団体になると

健全化判断比率指標のいずれかが財政再生基準を上回ると、財政再生計画の策定（議会の議決）、外部監査要求の義務づけ、計画の実施状況の報告、公表に加え、財政再生計画を総務大臣に協議し、同意を求めなくてはなりません（※1）。また、財政運営が計画に適合しないと認められる場合等において、予算の変更等が勧告されます。
（平成二十年決算から適用）

※1 同意がなければ、災害復旧事業費等を除き地方債の起債が制限されます

経営健全化基準について

早期健全化基準に相当するもので、各公営企業会計の資金不足比率が経営健全化基準を上回れば経営健全化計画の策定が義務づけられます。
（平成二十年決算から適用）

健全化比率の 一般家庭でのイメージ

私たちの一年間の家計に例えると、日々の生活における収入と支出の状況や、現在の借入金と貯金のバランスを比率化したイメージとなります。

例えば、二世帯住宅で暮らすAさん夫婦世帯（一般会計）、息子さん夫婦世帯（企業会計）を本別町に例えた場合、

◆実質赤字比率

Aさん夫婦世帯の一年間の収入と支出の結果、赤字だった場合、その赤字額が家計規模に対してどの位の割合だったのかを表します。

◆連結実質赤字比率

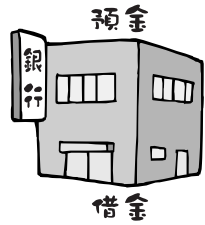
Aさん夫婦世帯、息子さん夫婦世帯の一年間の収入と支出の結果、赤字だった場合、その赤字額がAさん夫婦世帯の家計の規模に対してどの位の割合だったのかを表します。

◆実質公債費比率

家族全員の一年間の住宅取得や自動車購入などの借入金返済額のうち、Aさん夫婦世帯が負担した返済額が、Aさん夫婦世帯の家計規模に対してどの位の割合だったのかを表します。

◆将来負担比率

家族全員の住宅取得や自動車購入などの借入金残高など、Aさん夫婦世帯が将来負担を予定している費用から貯金を差引いた額が、Aさん夫婦世帯の家計規模に対してどの位の割合だったのかを表します。



平成20年度決算に基づく本別町の 健全化判断比率および資金不足比率について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律（平成19年法律第94号）第3条第1項及び第22条第1項の規定により、本別町における平成20年度決算に基づく健全化判断比率および資金不足比率について公表します。

1 健全化判断比率

平成20年度本別町各会計の決算に基づき健全化判断比率を算定したところ、下表のとおり、いずれの指標についても早期健全化基準、財政再生基準を下回りました。

指 標	本 別 町		早期健全化基準	財政再生基準
	平成20年度	平成19年度		
実質赤字比率	- %	- %	15.0%	20.0%
連結実質赤字比率	- %	- %	20.0%	40.0%
実質公債費比率	17.7%	19.3%	25.0%	35.0%
将来負担比率	79.2%	85.3%	350.0%	

※実質赤字比率または連結実質赤字比率は、それぞれ赤字額がないため「-」で表示しています

※連結実質赤字比率の財政再生基準については、市町村は30.0%とされていますが、3年間の経過的な基準が設けられています

2 資金不足比率

各公営企業会計における資金不足比率については、平成20年度決算において資金不足を生じた公営企業がないため、該当ありません。

会 計 の 名 称	本 別 町		経営健全化基準
	平成20年度	平成19年度	
水道事業会計	- %	- %	20.0%
国民健康保険病院事業会計	- %	- %	
簡易水道特別会計	- %	- %	
公共下水道特別会計	- %	- %	

※資金不足比率は、資金不足額がないため、「-」で表示しています。

○健全化判断比率および資金不足比率については、監査委員の審査に付した後、その意見を付して、10月定例町議会に報告いたしました。

HELLO 本別中央小学校

記念看板の設置

記念看板のスローガンを6年生が考えました。数多くの中から土蔵海渡君が考えた「過去に感謝 現在に夢を 未来にチャレンジ!」に決定し、6月9日実行委員会で駐車場の前に設置しました。

これまでの中央小学校の歴史に感謝し、これから未来に向けてがんばる決意が書かれたスローガンです。



土蔵海渡くん(左から3番目)と実行委員



記念空撮

地域参観日

11月15日(日)に今年も地域参観日が行われました。今年は、40周年記念事業として実行委員会がもちつきを主催し、保存会の協力をいただき実施しました。また、40周年を記念して「写真で振り返る中央小学校史」展も行いました。懐かしい写真やアルバムを卒業生である保護者や地域の人も熱心に鑑賞していました。

開校40周年 記念事業



今年地域参観日

本別中央小学校が開校して今年でちょうど40年になります。開校40周年記念事業実行委員会が中心となり、記念行事を行ってきました。これまで行った事業と今後の予定、そして実行委員会のメンバーをご紹介します。

記念空撮

悪天候とインフルエンザのため延期になっていた記念空撮が3度目の正直で10月26日に撮影することができました。

今回の撮影は飛行機ではなく、気球を飛ばして、地上からの操作によって撮影しました。

また、集合写真も撮影し、子供たちに記念として渡す予定にしています。

今後の予定

これからの予定は、「ようこそ先輩」と題して、本校の卒業生をお招きし、子ども達に自身の体験談や専門分野の指導をしていただく事業を予定しています。

また、タイムカプセルに子ども達の作品を収納し、10年後の50周年に開く予定です。

本別中央小学校開校40周年記念事業実行委員会

実行委員長	岡崎 眞也	事務局員	青木 徹	1年学級PTA代表	貝瀬 弘美
副委員長	安部 賞典	事業推進委員	千代 孝徳	2年学級PTA代表	前田 光穂
"	田中 由香理	"	望月 昇	3年学級PTA代表	渡邊 奈々
"	方川 裕子	"	三ツ石 雅人	4年学級PTA代表	中前 郁子
会計	岡田 静枝	"	今井 範行	5年学級PTA代表	田野 美穂
校長	工藤 雅史	"	西山 誠	6年学級PTA代表	柳 澤 真佐美
事務局長	古山 靖弘	会計監査	坪 沙代		
事務局員	森 雅仁	"	貝瀬 弘美		

シリーズ 第六次本別町総合計画

Part7

第一回役員会 を開催し、 今後の進め方 を確認

十一月九日、役員会(今野公司会長、三枝金作職務代理、飯居孝人総務部会長、菅原道正文教厚生部会長、久能利幸産業建設部会長、事務局)を開催し、今後の策定方針を確認しました。

これまでの経過

会議名	期日
第1回 策定審議会	5月25日

◆委嘱状交付、新総合計画策定諮問
◆北海学園大学開発研究所開発特別講座 講師：北海学園大学 佐藤克廣教授
〈講座要旨〉
町の「課題認知」とそれを解決するための「案(計画)」を作成することが、策定審議会委員の仕事であることを確認。策定の手法としてSWOT分析を提起。

第2回 策定審議会	7月27日
-----------	-------

◆福島県矢祭町のビデオを視聴
〈会議要旨〉
ビデオで先進的なまちづくりを学び、委員一人ひとりがまちづくりへの想いを述べる。事務局提案の、「新計画策定に向けた基本的な考え方」について、出席委員で意見交換を行い、策定にあたっての「町民皆さんの参画」「町職員の参画」などの基本的な考えをまとめる。

第3回 策定審議会	9月11日
-----------	-------

◆SWOT分析を実施
(第1回策定審議会にて佐藤教授から提起)
〈会議要旨〉
北海学園大学佐藤克廣教授をコーディネーターに招き、委員を3グループに分け本別町の現状を把握し、「強み」「弱み」「機会」「脅威」について分析。その中で、これからの本別町のまちづくりのポイントとして「農業(産業)」「高速道路」「ひと」が挙げられました。

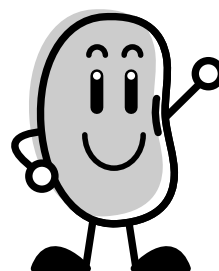


佐藤教授(左)からアドバイスを受けながら作業をする委員

※策定委員がまとめた本別町の現状は広報10月号に掲載済み

第4回 策定審議会	10月5日
-----------	-------

◆北海学園大学開発研究所開発特別講座 講師：北海学園大学 内田和浩教授
〈講座要旨〉
今ある産業を基軸とした仕事づくり。地元で働きたいと思う若者の育成。仕事づくりへ発想の転換の必要性について学ぶ。



これから
の進め方
●策定審議会委員からのまちづくりの提案、課題を提出
●町民アンケートの実施(広報ほんべつ1月号で全戸配布)

策定に向けての
ポイント
まちづくりのすべての分野で、仕事づくりを意識し、施策を展開する。

総合計画の企画・生涯学習担当
問い合わせ
22-8121
(課直通)

振り込め詐欺に 気をつけて！

10/20

10月11日から20日に実施されている全国地域安全運動にあわせて、北海道警友会本別支部（木田弘支部長）の会員15人が10月20日、町内スーパーで街頭防犯キャンペーンを実施しました。訪れた買い物客に、ティッシュやお茶を手渡ししながら、振り込め詐欺防止を呼び掛けました。



おやじも頑張る

11/1

本別中学校（西岡敏幸校長、174人）に通う生徒の父親で組織される義経の会（加藤勉会長）が11月1日、同校文化祭で、今年も鳥くしやフライドポテト、ポップコーンなどの販売コーナーを設置。お昼ころになると、おなかをすかせた生徒や保護者などが大勢訪れにぎわいを見せていました。



十勝東北部 身障分会交流会

10/28

第31回十勝東北部身障分会交流会（身体障害者福祉協会本別町分会主催）が10月28日銀河アリーナを主会場に開催され、各町の身障者分会会員約100人が参加しました。午前はレクリエーションが行われ、「ジャンケンリレーやサイコロ転がし」など7種目で交流。午後は会場をふれあい交流館に移して、料理を囲んで歌や踊りなどで盛り上がり、楽しいひとときを過ごしました。



オールとかち 大収穫市

11/12~17

十勝管内の農産物や特産品を一堂に集めた「オールとかち大収穫市」が11月12日から17日に帯広市内の百貨店で開催されました。本別町の店頭には、豆腐や味噌、生豆のほかにも本別ブランド「キレイマメ」などが並び、本別の良質な豆などを求めるお客さんでにぎわっていました。



第29回 町民将棋大会

11/15

第29回町民将棋大会（町文化協会、中央公民館主催）が11月15日老人福祉センターで開催され、普段から将棋に親しむ町内外の棋士が腕前を競い合いました。結果は次のとおり。

- 【有段の部】
 優勝＝高橋日出男（帯広市）
 準優勝＝篠江孝夫（本別町）
 3位＝松本秀規（本別町）



地域と学校が一体に 中央小地域参観日

11/15

本別中央小学校（工藤雅史校長、297人）の地域参観日が11月15日、同校で開催されました。3、4校時に行われた地域公開行事の「お祭り集会」には、開校40周年実行委員会（岡崎真也会長）が、もちつき保存会十五夜会（泉野健会長）の協力を得た「もちつき」や40年間を振り返る「写真展」、けん玉やおはじきなどの「昔遊びコーナー」で参加。児童と参観に訪れた保護者、地域住民が一体となり学校行事を盛り上げていました。



平成21年度 納税表彰

11/16

町内の川崎秀規さん（北3丁目）が11月16日、本別町商工会館で佐藤栄記十勝池田税務署長から今年管内2人目となる納税表彰を受けました。これは、現在会長を務める本別町青色申告会や副会長を務める十勝池田青色申告会連合会などでの、申告納税制度の普及と納税意識向上に尽力した功績が認められたもの。川崎さんは、「会員増強などで今後も協力していきたい」と抱負を語ってくれました。



本別町小・ 中学校作品展

11/18~25

町学校教育振興会（会長：西岡敏幸本別中学校校長）主催の「本別町小・中学校作品展」が11月18日から25日まで、中央公民館で開催されました。この作品展には、町内小中学校の児童、生徒が制作した絵や工作など約500点の力作が展示され、来場者の目を楽しませました。



情報を広報電算担当へお寄せください ☎22-8121 (課直通)

みんなの健康

304

先日、二〇〇九年度ノーベル医学生理学賞に、E・ブラックバーン博士他三人の受賞が決定しました。ノーベル医学生理学賞は私たちの医療や健康の発展に深く関わっていることも多く、さて今年はどうなる研究が受賞したのでしょうか？と思われたでしょう。

その研究は、『染色体のテロメア構造と酵素テロメラーゼの発見』ということですが、はて？テロメアって何？と首をかしげた人も多かったのではないのでしょうか。

テロメアとは私たちの人体を構成する細胞の中心に存在する核の中にあつて遺伝子(DNA)を束ねる染色体の端の構造をいいます。その語源はギリシャ語で「端(この)」と「長さ(部分)」という言葉をあわせたものです。要するにテロメアとは『端の長さ』という意味なのです。

さて、難しい言葉の話はさ

ておき、なぜ染色体の端にテロメアがあるのでしょうか。そしてそれにどういった意味があるのでしょうか。学生のみならずならば、鉛筆にプラスチックまたは金属製のキャップを使った事があるでしょう。その理由は折れやすい鉛筆の芯を守るためです。テロメアはまさに染色体を傷から守るキャップの役割をしているのです。

もし、テロメアがなければ、細胞分裂のたびに、染色体は傷つき、重要な遺伝子に欠陥が生じます。遺伝子の欠陥が蓄積すると、その細胞は高率に癌になってしまうのです。

ヒトの細胞は、細胞分裂をするたびにテロメアが少しずつすり減ってゆきますが、テロメアが靴底の様に、遺伝子を守ってかわりにすり減ってゆくれているのです。テロメアがすり減った細胞は寿命を迎えますので、テロメアの長さは細胞の寿命(生命の寿命)を規定しているとも言えます。

一方で、癌細胞は旺盛に細胞分裂を繰り返して増殖し、私たちが死に追いつける恐れしい存在ですが、癌細胞は、テロメラーゼという酵素を獲得して、自分たちの染色体のテ

ロメアを維持し、何度でも細胞分裂出来るのです。よって癌細胞にはおよそ寿命というものがないとされています。これを細胞の『不死化』と言います。

それならば、仮にテロメアを維持することができるといえる薬ができれば、それは強力な抗がん剤となるでしょう。現在のところ、これをヒントに不老長寿のお薬を作つてやろうなんて試みは今のところありません。しかし、抗がん剤としてのテロメラーゼ阻害薬に関しては今も地道に研究が進んでいます。

ブラックバーン博士らの研究発表は一九八五年で、その当時は遺伝子解析が本格的に始まった時代です。このとき、テロメアという、染色体の端にあって遺伝情報としては全く意味のない構造の研究が行い、その後それがとても重要なものとなり、ノーベル賞受賞となつて花咲いたというわけです。一見何ら価値のなさそうなものに目を付けることが大切なのでしょうね。

本別町国民健康保険病院
外科医長 北岡文生

テロメアと癌

未来に輝く子どもたち



本別町の未来を担うかわいい星たちです。お父さん、お母さんの愛情で包まれてすくすく元気な育ちですね！

美里別西上
大和田 敬也くん
(絵美ママ)



押帯
小川 晴基くん
(美沙樹ママ)



中学校
倉田 慎也くん
(智美ママ)



勇足西一
山下 祥知くん
(陽子ママ)



※写真は本人に了解を得た上で掲載しています

新入学児童健康診断

11/20

来春小学校に入学予定の子供73人(男子34人、女子39人)を対象とした健康診断が11月20日、町体育館で実施されました。

保護者に手を引かれた子供たちは、元気に身長・体重測定、視力・聴力・内科・歯科の検査を受け、来年4月の入学準備をしました。



銀河ホップ・ステップ・ダンス

足寄町

ネイパルあしよろフロアカーリング大会

地域の方々の健康体力づくりと交流の促進を図ることを目的に、フロアカーリング大会を開催します。子どもから高齢者まで世代を越えて楽しめるスポーツです。ぜひ、ご参加ください。

日時 12月13日(日)
受け付け 午前8時
競技開始 午前8時45分

- 場所 足寄町常盤3番地 道立足寄少年自然の家(ネイパルあしよろ)
- 対象 小学生以上4人1チーム(最大6人)でお申し込みください
- 定員 24チーム
- 参加費 1人 100円
- 持ち物 上靴、運動ができる服装
- 申込期限 12月8日(火) 午後5時
- 申込先・詳細 道立足寄少年自然の家 2516111

陸別町

エゾシカ猟についての注意

- 「ハンターの皆様へ」
- 山林内で狩猟するときは、常に人がいるということを念頭に、矢先の確認を確実にし、不用意な発砲はしないようにしてください
- 捕獲による個体の処理は適正に行い、残骸などは放置しないようお願いいたします
- 他人の土地に立ち入って狩猟を行う場合は、その土地の所有者

- に承諾を得てから狩猟を行ってください
- 【ご注意ください】
- エゾシカ猟期間内は道内外のハンターが数多く入ると思われますので、山林内に入るときは、周囲の状況に十分注意してください。
- ▼エゾシカの狩猟期間 平成22年3月28日まで
- ▼その他の狩猟鳥獣 平成22年1月31日まで
- 問い合わせ 陸別町役場産業振興課林業振興担当 2712141

ご寄付ありがとうございます

平成21年10月9日から11月18日

- 次の通りご寄付をいただきました。紙上をかりて厚くお礼申し上げます。(敬称略)
- ★本別町老人ホーム指定
 - タオル 100本 共栄自治会婦人部一同
 - ダイコン 35本 向陽町 小松 栄一

- じゃがいも 60kg・カボチャ 12個・ニンジン 10kg 美里別西上 柴田 一 栄
- 個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付
- ★福祉でまちづくり推進事業 金30,000円 勇足元町 山口 護
- ★本のまち・夢プラン事業 金1,000,000円 函館市 羽田 剛

広報ほんべつ 第974号

平成21年12月1日発行
印刷／本別印刷株式会社

本のある暮らし

105

絵本の魅力を たづね・じっくり

図書館読書週間

お誕生

10月後半から
11月前半の
届出分

小川 晴基はるき 雅彦みやびこ 10/16 押 帯
山下 祥知さち 正弘まさひろ 10/20 勇足西1
宮口 友佑ともすけ 淳哉じゅんざい 10/24 栄 町
原 悠稀ゆうき 裕輔ゆうすけ 10/30 新 町
今野 愛理あいり 公勝こうしょう 10/31 北5丁目
杉原 光騎みつり 尚裕しょうよ 11/2 北4丁目
竹村 宗将むねまさ 博樹ひろき 11/6 向陽町

ご結婚

(武田 裕敬ひろあき 錦 町
富田 真知子まちこ 足 寄 町
齊藤 英治えいじ 活 込
仁王頭 美香みか 新 生

おくやみ

篠原 君子きみこ 79歳 10/13 栄 町
天野 マサまさ 95歳 10/17 栄 町
高橋 心こころ 97歳 10/28 柳 町
佐々木 義一よしいち 71歳 11/1 山手町
岩田 キク卫きくゑ 91歳 11/2 南1丁目
山岸 静しずか 97歳 11/7 勇足元町
伊藤 美津瑠みづる 81歳 11/12 勇足元町

わたしたちのまち

前月比

人口 8,574人(-5)

男 4,222人(-2)

女 4,352人(-3)

世帯数 3,946戸(-3)

〔10月末日住民基本台帳〕

10月31日(土) 午後1時から、図書館で「絵本朗読会と講演会」が行われました。

絵本朗読会

図書館ボランティアぶっくる

作家柳田邦男さんが提唱する「絵本読み聞かせのすごい力10か条」や、大人が楽しめて心が癒される4作品を朗読し、絵本の持つ力やふれあいの大切さを伝えました。

絵本講演会

「絵本から学ぶ～子どもの豊かさを見つめて」

帯广大谷短期大学 田中厚一 教授

講演では、子どもの感性の豊かさと、大人の絵本の楽しみ方について、分かりやすく説明。また、絵本「ちいさなあなたへ」を例に挙げ、「自ら成長できる場としての絵本を、大人と子どもと一緒に本音で考えていくことが大切」と話しました。



お問い合わせ先

本別町図書館

(愛称:ぶっくる一丸)

本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112

発行 本別町

編集 企画振興課
広報電算担当

住所 北海道中川郡本別町
北2丁目4番地1

電話 0156-22-8121
(直通)
FAX 0156-22-3237

ホームページ
<http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp/>